



横島小学校だより No. 1 「考動」

※「自分で考えて行動する」意の造語です。

【平成 31 年度がスタートしました】

玉名市では、中学校区ごとに、小中一貫教育が進められています。共通実践事項を定めたり、研修を一緒に行い授業研究をしたりして、義務教育 9 年間を見越して、子どもたちを育てているところです。その中で、有明中校区の「共通学校教育目標」とめざす児童像も定められています。そこで、横島小学校は、今年度は、以下の目標と児童像でスタートします。

【学校教育目標】

「夢の実現に向けて、確かな学力、豊かな心、健康・体力を身に付けた児童の育成」

【目指す児童像】

- 明るく挨拶を交わし、思いやりあふれる子ども
- 理想を高く持ち、自ら学び、高め合う子ども
- 安全と健康に心がけ、体づくりに励む子ども
- 謙虚な心で、粘り強く努力する子ども

そして、この児童像から育てたい力を 3 つ定めて取り組みます。

- 1 「共感力」：思いやりあふれると関連
- 2 「考動力」：自ら学び高め合うと関連
- 3 「やり抜く力」：励む、粘り強く努力と関連

現在、職員全員で共有をするために調整中です。決定次第、再度お伝えします。

それを受けて、今年度のスタートである始業式では、「学校教育目標」の「夢の実現に向けて」につながるお話を二つしました。

一つは、私の小学校・中学校の同級生である植尾かずこさんの話です。

先週の金曜日に横島小学校の児童のために本を買ってくださいと寄付を持ってきてくれました。何十年ぶりかであったので、とても驚いたのですが、なぜ寄付をするのかその理由を聞いてより驚きました。

その理由とは、横島小学校 3 年生の時に、学校で児童のために使ってくださいと言って、黒板消しをきれいにするクリーナーを寄付してくださった方がいたのです。植尾さんは、そのときにとっても感動して、自

分も大きくなったら、子供達のために寄付ができる大人になりたいという強い「思い」を持ったそうです。その思いは実現できずにいましたが、忘れてはいなかったのです。

そして、同級生である私が、横島小学校に来たのをきっかけに寄付をするためにやってきてくれたわけです。

子供たちには、小学校 3 年生の時に持った強い「思い」を 50 年の月日をかけて実現することは、素晴らしいですねと伝えました。

次に、プロ野球の大谷翔平選手で話題になった「マンドラチャート」を紹介しました。

体のケア	サブメニューを飲む	FSQ 90Kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストを強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130Kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事夜 7 杯 朝 3 杯	下肢の強化	体を開かない	メンタルをコントロール	ボール前でリリース	回転数アップ	可動域
目標目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸で回る	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気は流されない	メンタル	ドラ 1 8 球団	スピード 160Km	体幹強化	スピード 160Km	肩周りの強化
波を作らない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	計画性	あいさつ	ゴミ拾い	部屋そうじ	カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダークレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの感謝	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォーム	ストライクからボールへ	奥行きをイメージ

(注) FSQ、RSQ は筋トレ用のマシン(出所)スポーツニッポン

大谷選手は、自分を高める行動を考えるとときに、このシートを使いました。大谷選手のすばらしいところは、この中に「人間性」を入れているところと「運」を引き寄せるために考えた行動です。

子供たちには、野球やサッカーなど技術を高めるだけでなく、大谷選手のように、日常の行動(あいさつやごみ拾い、審判さんへの態度、思いやりを持つ、感謝の気持ちを持つ、道具を大切に等)を目標設定に入れて取り組みましようと言いました。

※ホームページもご覧ください。できるだけ、リアルタイムで情報を発信していきます。「承諾書」への協力もお願いします。